

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

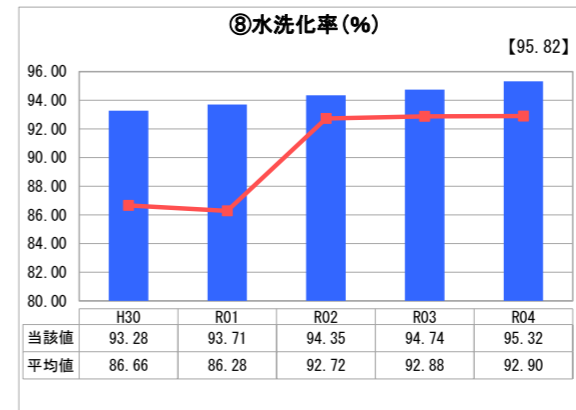
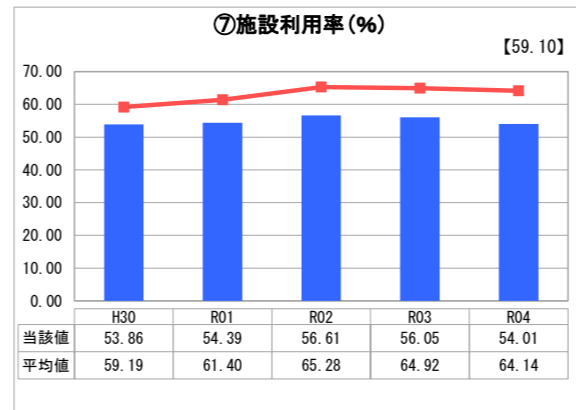
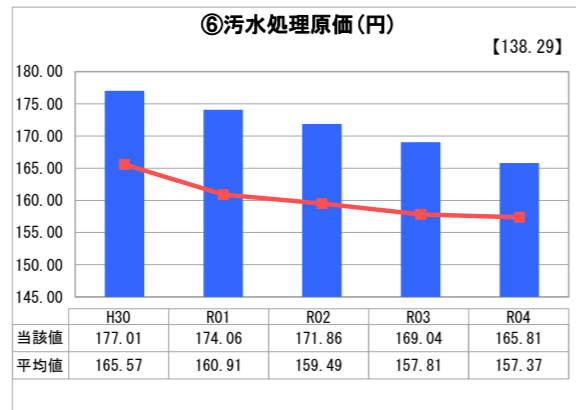
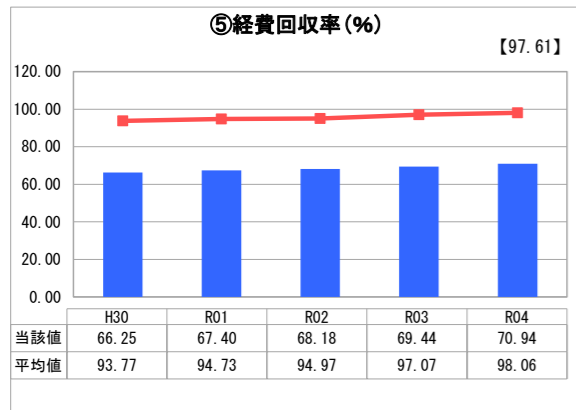
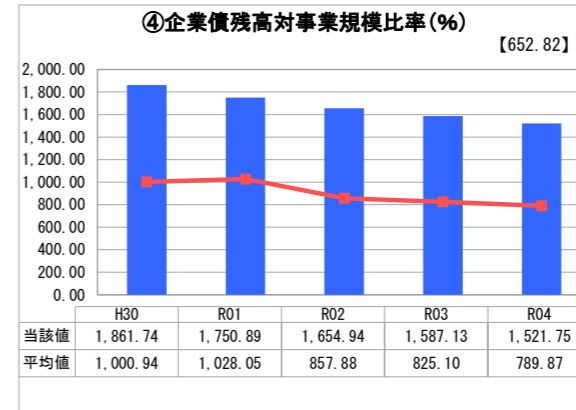
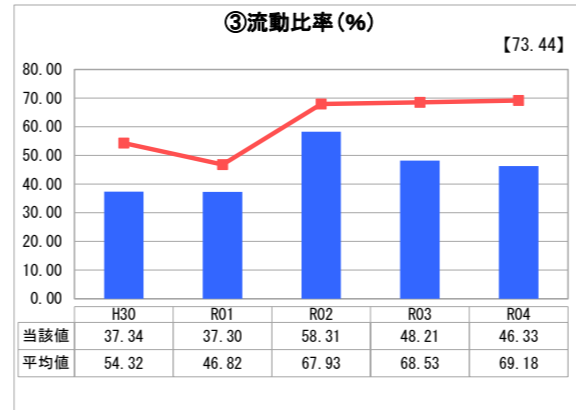
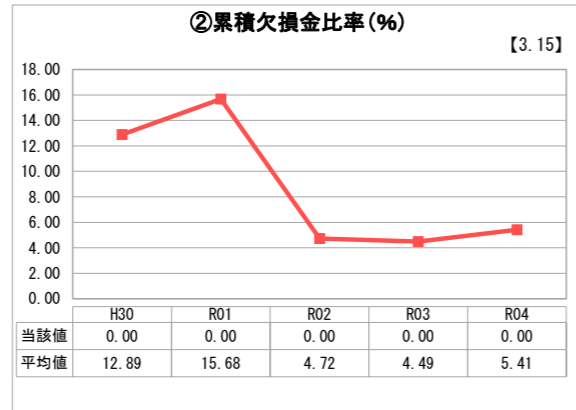
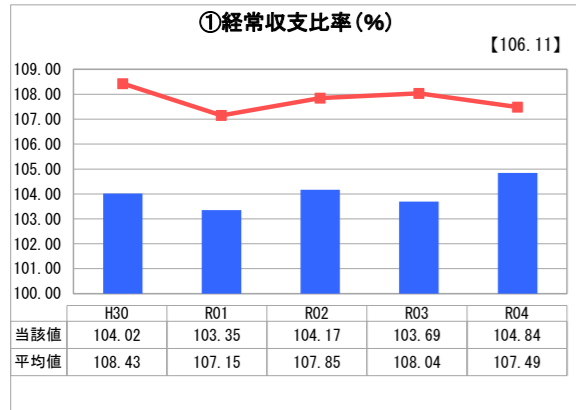
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.54	87.65	88.53	2,442

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
35,931	64.44	557.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,500	14.16	2,224.58

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

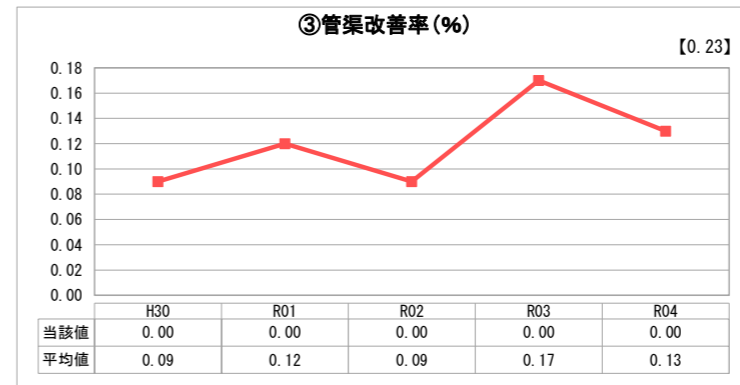
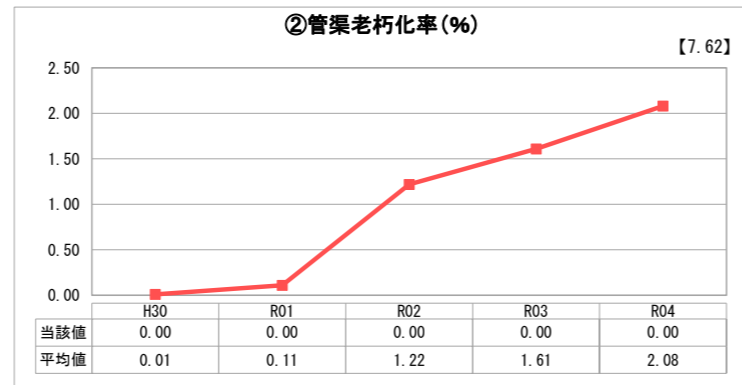
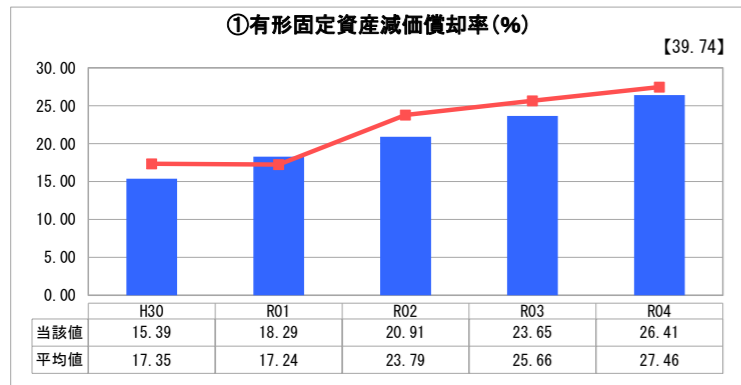
### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については黒字を示す100%を超えているが、収入については一般会計からの繰入金に依存しており、営業収支は赤字となっている。流動比率についても100%を下回り、類似団体平均値よりも低い。経費回収率は70.94%であり、使用料で回収すべき経費を使用料で賄っていない状況である。また、企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値よりも高く、投資規模に対し使用料収入が少ないことが原因である。事業実施の際は、補助金等の財源確保に努めているが、不足分については一般会計からの繰入金により経営安定を図っている状況である。

### 2. 老朽化の状況について

管路については、現在のところ耐用年数を超過したものは少ないが、カメラ調査による診断などを行い適正管理を行っている。施設利用率は54.01%であり、類似団体平均値よりも低い状況であるが、今後は統廃合事業を実施し、向上に努めていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

事業経営については、一般会計からの繰入金に依存しており、基準外繰入金についても過大となっている。経費回収率は低く、類似団体平均値を下回っており、使用料の見直しが喫緊の課題である。また処理施設及び機械設備更新のため、更なる経費増大が見込まれているが、企業債償還についてはピークを過ぎているため企業債残高については減少していく。今後は長期的計画の内容精査を行い、工事財源の確保に努める必要がある。今後は、ストックマネジメント計画等により施設の統廃合や老朽化対策など投資計画の見直しを行い、より一層の経営改善に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管路老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。